

第6章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

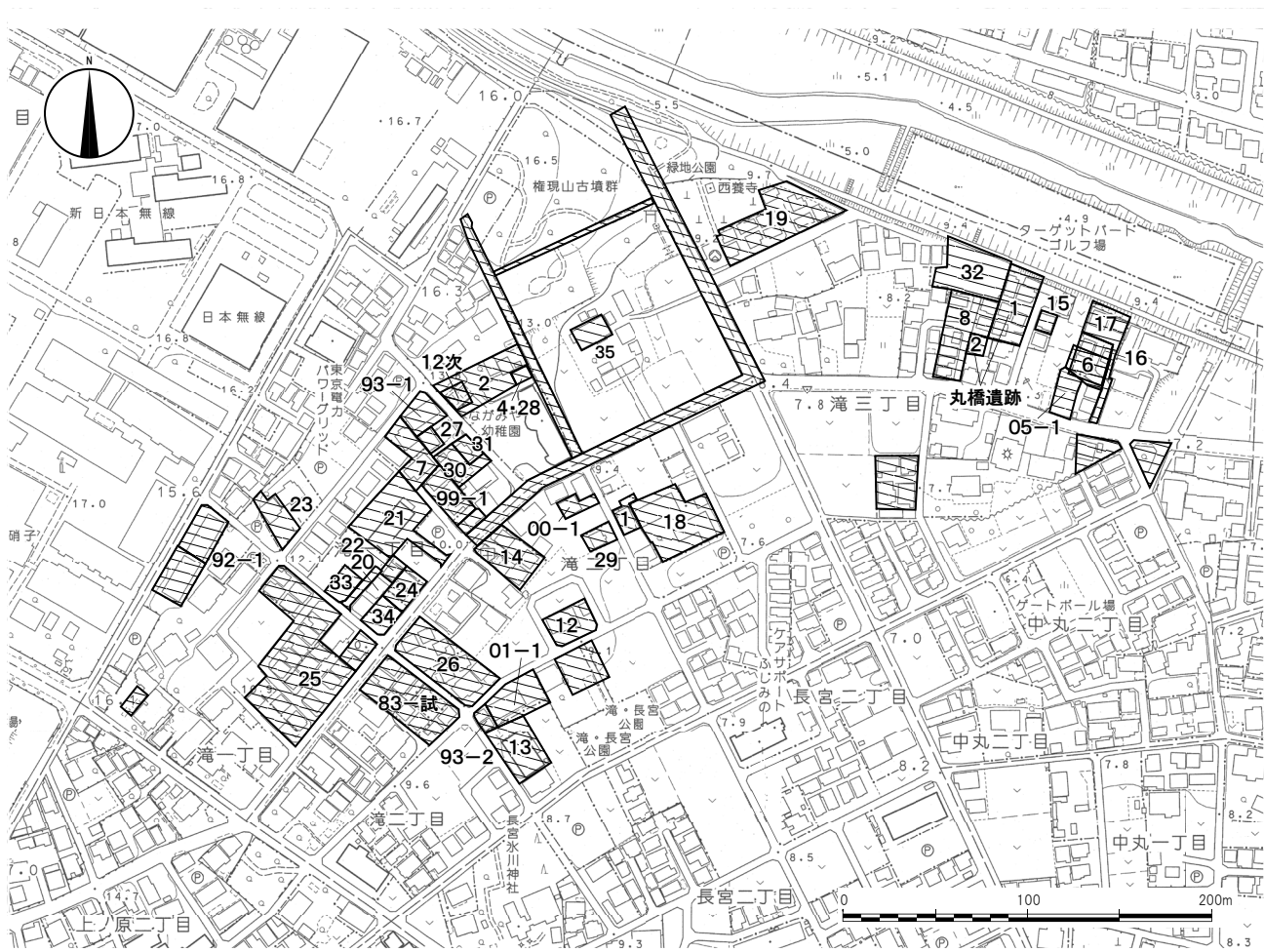
滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12 m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250 m、東西500 m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡(1981年の変更増補で滝遺跡と合併)で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以来2020年4月現在、41ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構(集石を伴う)である。



第52図 滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第 29 表 淹遺跡調査一覧表

地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ()は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
丸橋 1 次	淹 3-3-77 ~ 81	(1976.6.26 ~ 27) 1976.7.24 ~ 8.12	533.73		分譲住宅	古墳時代住居跡 2、土師器	丸橋遺跡は淹遺跡へ 統合	上調
丸橋 2 次	淹 3-3-13	1978.7.26 ~ 8.6	210		住宅建設	土坑、縄文土器		上埋 I
1 次	淹 2-6-11	1978.10.2 ~ 13	129		住宅建設	古墳時代住居跡 1、土師器		上埋 I
2 次	淹 1-4-2	1979.4.15 ~ 5.7	278		幼稚園 プール	古墳時代住居跡 1、古代住居跡 3、 土坑、墨書土器等		上埋 II
3 次	淹 1-4-15	1980.6.27 ~ 7.3	76		個人住宅	古墳時代住居跡 1、甕	権現山 1 地点へ変更	上埋 III
4 次	淹 1-4-1	1980.7.7 ~ 10	105		住宅建設	遺構なし、土師器		上埋 III
5 次	淹 1-3-21	1980.7.25 ~ 29	330		住宅建設	遺構遺物なし	権現山 2 地点へ変更	上埋 III
6 次	淹 3-3-6	1980.11.19 ~ 11.30	166		住宅建設	古代住居跡 1、ビット、縄文土器 等		上埋 III
7 次	淹 1-1-19	1981.7.30 ~ 31	400		個人住宅	遺構なし、土師器等		上埋 IV
8 次	淹 3-3-15 他	1983.11.14 ~ 26	990		住宅建設	古墳時代住居跡 2、土坑、溝、土師 器等		上埋 VI
83- 試							試掘詳細不明	上埋 VI
9 次	淹 1-4-4	1984.5.11 ~ 22	466		住宅建設	溝、土師器等	権現山 5 地点へ変更	上埋 VII
10 次	淹 1-3-17	1984.6.1 ~ 12	363		住宅建設	古墳時代住居跡 1、土坑、ビット、溝、 土師器等	権現山 6 地点へ変更	上埋 VII
11 次	淹 1-4-2	1984.6.28 ~ 30	33.12		物置	集石、土坑、ビット、陶磁器等	権現山 7 地点へ変更	上埋 VII
12 次	淹 1-4-2	1984.12.22 ~ 24	94		住宅建設	遺構なし、土師器等		上埋 VII
92-1	淹 1-2-14 の一部	(1992.7.6 ~ 8)	400		倉庫	遺構遺物なし		上埋 15
93-1	淹 1-1-4	(1993.4.23 ~ 28)	313.08		共同住宅	遺構遺物なし		上埋 16
93-2	淹 2-2-7	(1993.8.25)	99		個人住宅	遺構遺物なし		上埋 16
95-1	淹 1-3-13	(1995.11.27 ~ 30)	462		共同住宅	遺構遺物なし	権現山 14 地点へ変更	上埋 18
99-1	淹 1-1-6	(1999.10.21 ~ 26)	511.09		宅地造成	遺構なし、土師器片等		上埋 22
00-1	淹 2-5-20	(2001.1.23 ~ 24)	154.7		個人住宅	遺構なし、土師器片		上埋 23
01-1	淹 2-2-8	(2001.4.17 ~ 20)	519.64		共同住宅	古代住居跡 1、土師器		上埋 24
02-1	淹 1-3-49	(2002.5.29 ~ 30)	165		個人住宅	遺構なし、縄文土器片	権現山 16 地点へ変更	上埋 25
05-1	淹 3-3-5・143	(2005.6.24 ~ 27)	350		個人住宅	遺構遺物なし		市内 1
12	淹 2-5-3・4 の一部	(2007.2.6)	472	(80)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 3
13	淹 2-2-6	(2007.10.24 ~ 11.1)	737.7	(113)	共同住宅	焼土、土坑、ビット、溝		市内 4
14	淹 2-5-11・17	(2007.11.8 ~ 19) 2007.11.20 ~ 12.6	692	(254) 92	分譲住宅	古代住居跡 7、焼土、土坑、溝、井戸、 土師器等		市内 4
15	淹 3-3-84	(2009.9.2 ~ 14) 2009.10.23 ~ 11.6	100	(50) 52.5	分譲住宅	古代住居跡 1、土坑、ビット、井戸、 土師器等		市内 7
16	淹 3-3-145	(2009.12.2 ~ 14)	434	(129)	宅地造成	古代住居跡 2、土坑、ビット、溝、 井戸、土師器等		市内 8
17	淹 3-3-6・144	(2010.5.6 ~ 6.18)	331	(197)	分譲住宅	古代住居跡 5、掘立柱建物跡 1、集 石、土坑、ビット、溝、井戸、土 師器等		市内 10
18	淹 2-6-4・6	(2011.6.6 ~ 13) 2011.6.14 ~ 7.14	1,164	(124.3) 195.2	個人住宅	古墳時代住居跡 2、掘立柱建物跡 3、 土坑、ビット、溝、井戸、土師器 等		市内 14
19	淹 3-4-2	(2011.10.17 ~ 24)	1,277.16	(369)	分譲住宅	溝、陶磁器等		市内 14
20	淹 1-8・9	(2012.5.9 ~ 11) 2012.5.14 ~ 25	124.45	(65) 20	道路築造	古代住居跡 1、土坑、ビット、井戸、 須恵器等		市内 12
21	淹 1-1-7・26・31	(2012.5.11 ~ 21) 2012.7.17 ~ 8.25	1,176.25	(226) 340	共同住宅	古代住居跡 3、掘立柱建物跡 1、土 坑、ビット、溝、井戸、土師器等		市内 12
22	淹 1-1-40	(2013.7.30)	114	(19)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 18
23	淹 1-3-5 の一部	(2014.2.12)	371	(38)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 18
24	淹 1-1-8 の一部	(2014.7.16 ~ 18)	222.8	(85)	分譲住宅	土坑、ビット、土師器等		市内 20
25	淹 1-2-4・32	(2014.7.17 ~ 8.26) 2014.9.8 ~ 10.31	2,804	(1115.8) 362	宅地造成	古代住居跡 8、古代掘立柱建物跡 1、 土坑、ビット、溝、井戸、須恵器 等		市内 16
26	淹 2-5-6・8	(2015.10.19 ~ 27) 2015.11.9・10	368.92	(242) 19.2	個人住宅	古代住居跡 2、落とし穴、土坑、ビッ ト、溝、井戸、縄文土器等		市内 22
	淹 2-5-39・40・41・ 42	(2016.8.24 ~ 9.9)	862.92	(131.87)	分譲住宅			
27	淹 1-1-25	(2015.11.27 ~ 12.1)	155	(29)	個人住宅	古代住居跡 1、ビット、土師器等		市内 22
28	淹 1-4-1・26・27	(2016.9.3 ~ 6)	2,492.15	(25)	幼稚園	古代住居跡 1、ビット、土師器等		市内 24
29	淹 2-5-46	(2016.11.10)	150.41	(34.95)	個人住宅	溝、縄文土器等		市内 24
30	淹 1-1-3 の一部	(2017.2.13 ~ 15)	303	(104.5)	分譲住宅	遺構なし、縄文土器		市内 24
31	淹 1-1-3 の一部	(2017.2.13 ~ 15)	109	(26.1)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 24
32	淹 3-3-14	(2017.6.26 ~ 29)	784.54	(176.1)	分譲住宅	ビット、溝、井戸、陶磁器等		市内 24
33	淹 1-1-9 の一部	(2018.12.14)	187	(38.15)	個人住宅	ビット群、須恵器等		市内 25
34	淹 1-1-8	(2019.2.20・21、4.12)	333	(95.29)	個人住宅 兼診療所	遺構なし、須恵器等		市内 25
35	淹 1-6-3	(2020.2.17) 2020.2.18 ~ 21	171.83	(85.5) 35	個人住宅	土坑、井戸、地下式坑、板碑、カ ワラケ等		市内 25



第53図 滝遺跡遺構分布図(1/2,000)

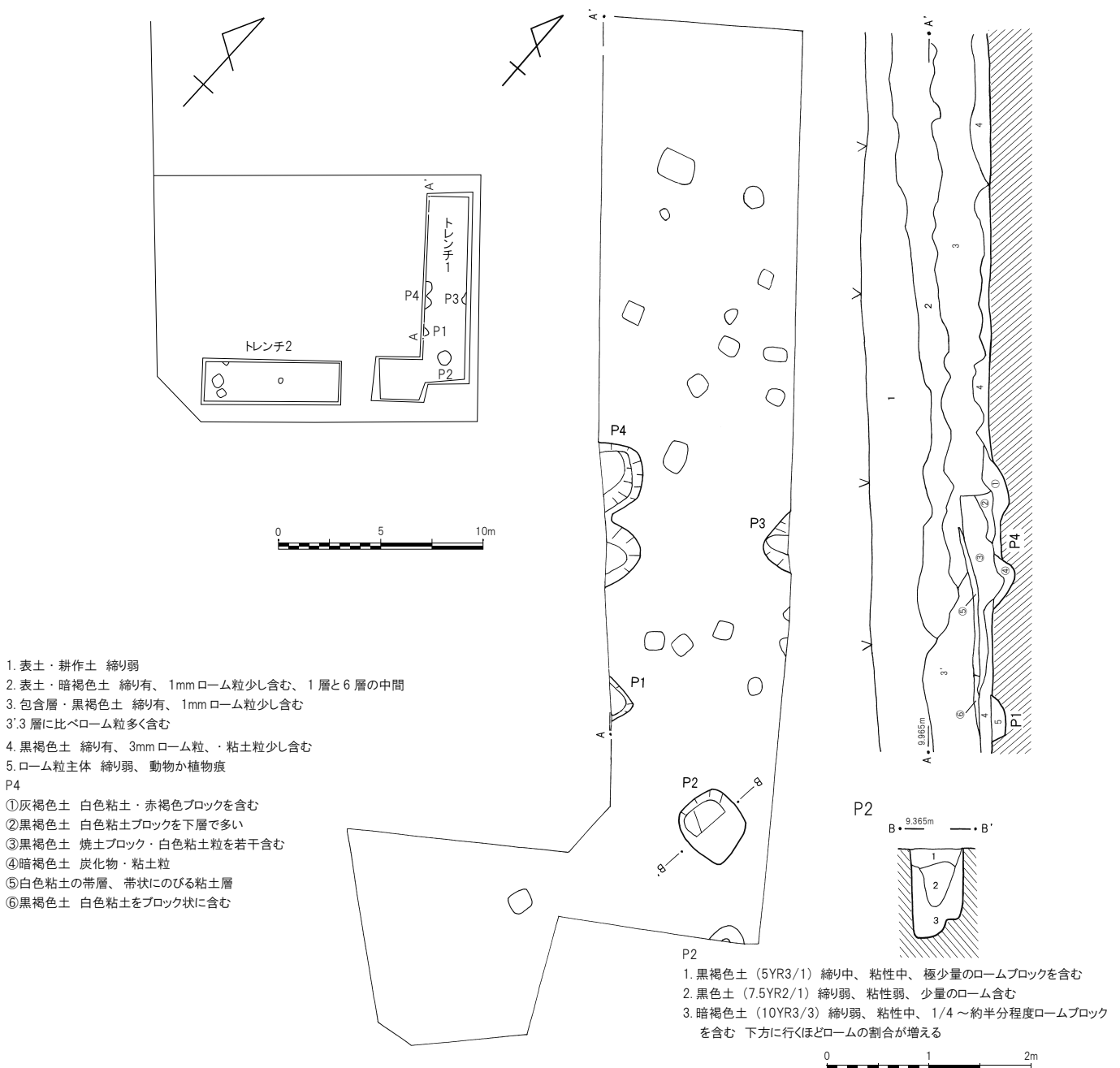
II 滝遺跡第33地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2018年11月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2018年12月14日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅2～2.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約120cmである。

調査の結果、ピットを複数検出した。保護層の確保が可能なため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第54図 滝遺跡第33地点遺構配置図(1/300)、土層・ピット(1/60)

(2) 遺構と遺物

①ピット

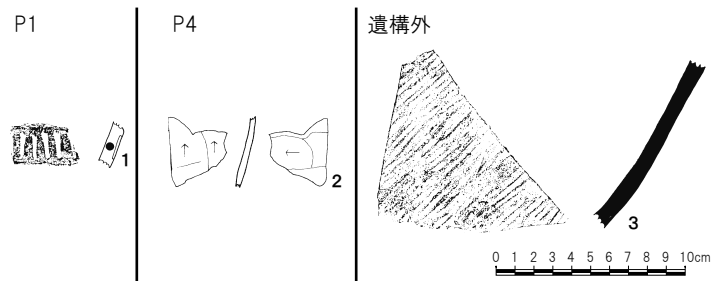
ピットは両トレンチで全面的に認められるが、特に東側のトレンチ 1 に集中して確認された。今回の調査では保護層の確保が可能であったため、すべては完掘していない。調査に至ったピットの詳細については第 30 表に掲載した。ピット 2 については、平面形態が方形を呈し、深さ 87 cmを測ることから、掘立柱建物の柱穴である可能性も考えられる。また、ピット 4 からは白色の粘土層が確認された。平面形態は双円状であり、粘土層中には焼土ブロックを含んでいる。破壊された竈のようにも見受けられるが、周辺から住居跡は確認できず、詳細は不明である。

②出土遺物

遺物はピット 1 から縄文土器片 1 点、ピット 4 から土師器片 1 点、遺構外から須恵器片 1 点が出土した。詳細については第 55 図及び第 31 表に掲載した。

第 30 表 滝遺跡第 33 地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	不明	43 × (21)	29 × (15)	13.5
2	方形	65 × 57	(28) × (23)	87
3	不明	60 × (24)	(21) × 18	19.5
4	双円状	142 × (41)	30 × (20)	22.2



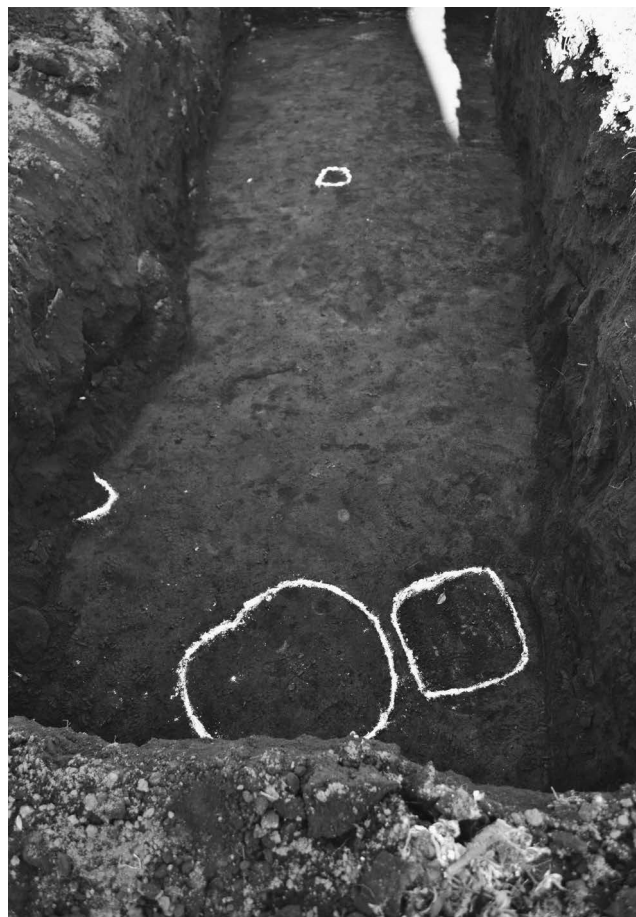
第 55 図 滝遺跡第 33 地点出土遺物 (1/4)

第 31 表 滝遺跡第 33 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期・型式
第 55 図 -1	P1	縄文・深鉢	胴部 / 縦位角押文、胎土に金雲母を含む	阿玉台式
第 55 図 -2	P4	土師器・甕	胴部、外面：ヘラケズリ、内面：ヘラナデ / 内面に煤附着、胎土に黒色粒子を少量含む	7 世紀代
第 55 図 -3	遺構外	須恵器・甕	胴部、外面：平行タタキ、内面ナデ / 外面に自然釉、内面に指頭痕、胎土に白色粒子を多く含む、5Y 4/1 灰色	8 世紀代



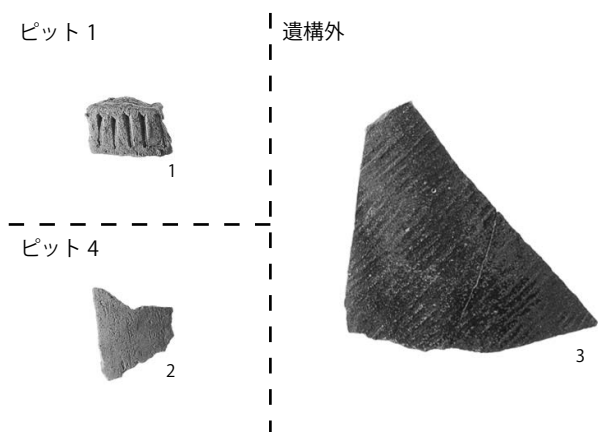
滝遺跡第 33 地点トレンチ 1



滝遺跡第 33 地点トレンチ 2



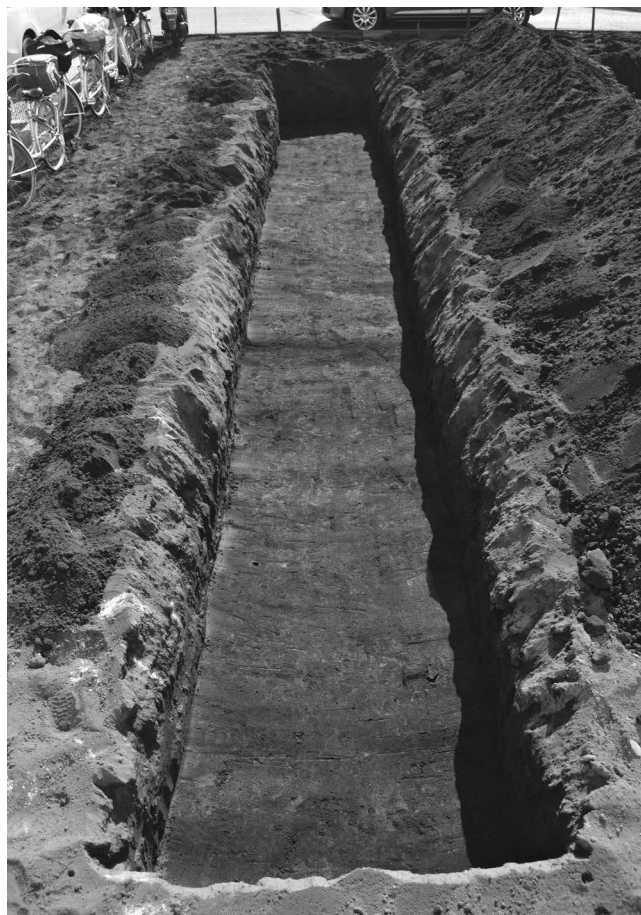
滝遺跡第 33 地点ピット 4



滝遺跡第 33 地点出土遺物



滝遺跡第 33 地点調査風景



滝遺跡第 34 地点トレンチ 1



滝遺跡第 34 地点トレンチ 4